

拠点と軸の設定について

拠点の設定

種別	位置づけ	設定の基準	拠点例
① 広域拠点	<ul style="list-style-type: none"> 県の玄関口としての位置づけ 三大都市圏などと直接アクセス可能な駅(空港)とその周辺部 	<ul style="list-style-type: none"> 空港、新幹線駅(リニア含む) 在来線特急停車駅のうち10圏域の中心地もしくはターミナル機能の高い箇所 	長野、松本、上田、飯田、木曾、軽井沢、飯山、岡谷、塩尻など
② 圏域拠点	<ul style="list-style-type: none"> 都市圏・生活圏として捉えたときの中心地としての位置づけ 圏域の中心都市(町)の主要駅とその周辺部 	<ul style="list-style-type: none"> ①以外に県庁がある市町 地域間幹線系統確保維持費交付要綱別表5に示される市町(①の広域拠点は圏域拠点を兼ねる) 	上記の広域拠点のほか、大町、伊那、中野、小諸、茅野など
③ 地域拠点	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な行政手続きや一次医療(かかりつけ医)、日用品の買い物、用足しなどに対応した地域の中心部 	<ul style="list-style-type: none"> ②以外の各市町村(市町村役場や駅周辺、もしくはその他生活関連施設の集積地) その他にターミナル機能を有する箇所 	安曇野、東御、白馬、下諏訪、篠ノ井、丸子など

軸の設定

種別	位置づけ	具体例
A 広域都市間連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 三大都市圏などと県内の広域拠点①を結ぶ軸 	鉄道 : 北陸新幹線、リニア中央新幹線、しなの、あずさ
B 圏域間連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 複数の圏域をまたぎ圏域拠点②を結ぶ軸 	鉄道 : しなの鉄道、飯田線、大糸線、小海線、長野電鉄など バス : みすずハイウェイバスなど
C 圏域内連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 圏域拠点②と地域拠点③を結ぶ軸 	鉄道 : 上高地線、別所線 バス : 地域間幹線系統の各バス路線(⇒牟礼線、野沢温泉線、駒場線など)その他幹線の役割が見込まれる路線(⇒阿南線、開田高原線、伊那本線など)
D 地域間連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 地域拠点間③を結ぶ軸(地域拠点がA～Cのいずれのネットワークにも接続されていない場合) 	バス : 市町村を跨ぐ路線のうち、左記の役割を担う路線(⇒犀川線、大鹿線、温田線など)
E 地域内連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 地域拠点③と地域内の居住区などを結ぶ軸 	バス : その他のコミュニティバス等

地域公共交通

補足説明(個別事項など)

①広域拠点について

・「特急停車駅のうちターミナル機能の高い箇所」は岡谷と塩尻の2箇所を設定。岡谷は飯田線との乗換駅であり、塩尻は中央東線・西線、篠ノ井線、辰野支線の乗換駅となる。

②圏域拠点について

・合庁がない市町のうち、国補助要綱別表5から設定したのは、小諸市、茅野市の2市。

③地域拠点について

・県内77市町村の中心については、すべてが地域拠点以上になるように設定。

・市町村中心以外で「その他にターミナル機能を有する箇所」として設定しているのは、上田市丸子、長野市篠ノ井、長野市豊野の3箇所。

A:広域都市間連携軸について

・新宿、名古屋などを結ぶ都市間高速バスについては、県計画としては原則として扱っておらず、交通軸にも位置づけていない。圏域としてとくに必要性が認められる場合(上伊那、下伊那など)は本文中に文言として組み込む程度にとどめている。

B:圏域間連携軸について

・Aの高速バスとも関連するが、県内々の高速バス・特急バスは対象としている。具体的に軸に位置づけたものは、みすずHWバスと長野白馬線の2路線である。みすずHWは鉄道との重複区間であるが、飯田線の補完の役割が高いため設定、長野松本線は篠ノ井線があることで鉄道の補完とは位置づけづらいため対象外としている。

C:圏域内連携軸について

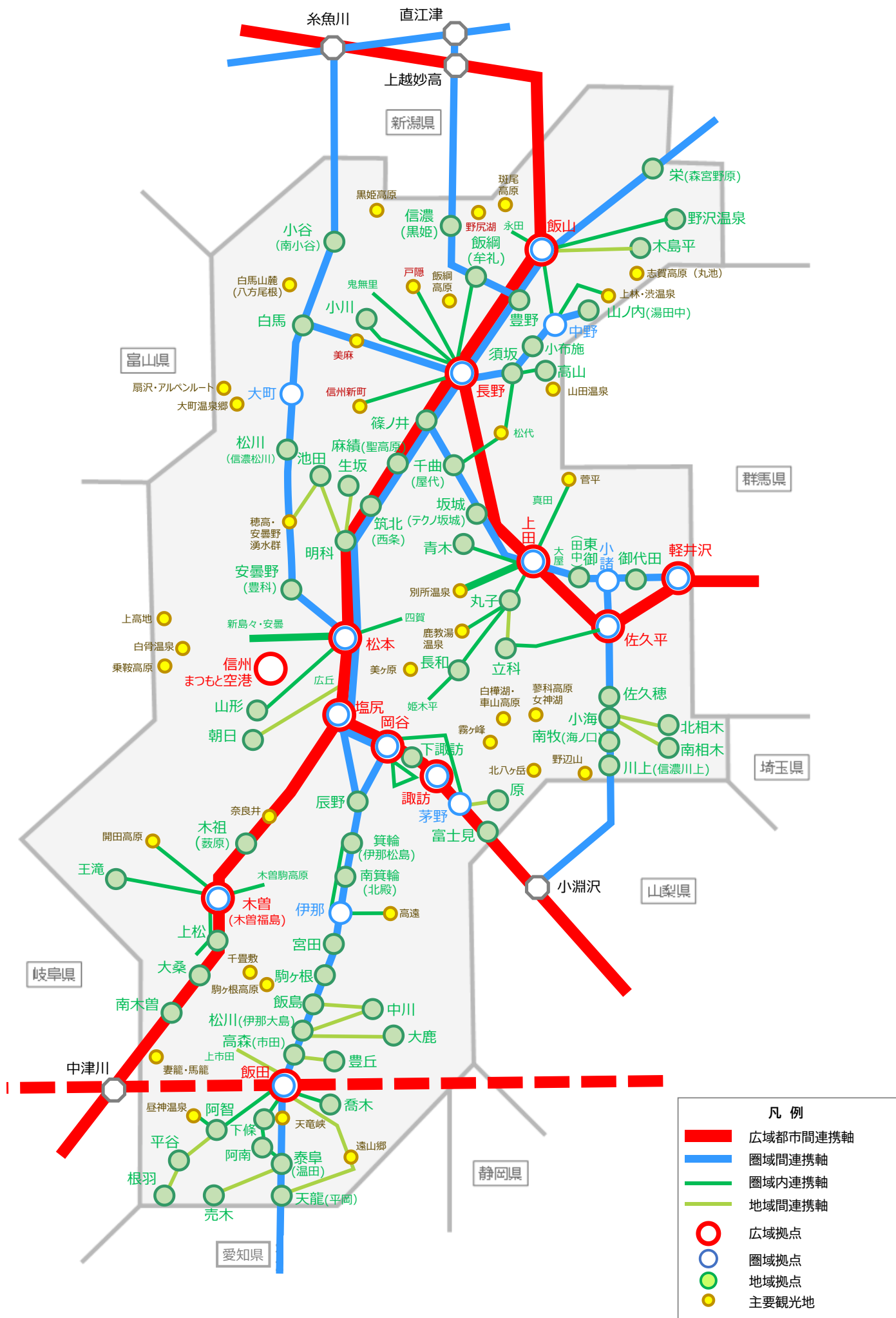
・既存の地域間幹線系統以外で「幹線の役割が見込まれる」としたのは、和田峠北線(上田)、伊那本線、高遠線(上伊那)、阿南線、阿島線(下伊那)、開田高原線、木曾駒高原線、三岳王滝線、倉本線(木曾)の9路線。具体的には、市町村境界(平成の大合併含む)を跨ぎ、一定の運行本数、輸送量を持つ路線を選定。

D:地域間連携軸について

・地域拠点がABCのいずれの軸にも連絡していない場合、D(黄緑)の軸で連絡を図っている。木島平、北相木、南相木、生坂、朝日、池田、原、中川、大鹿、豊丘、売木、平谷、根羽

・上記のほかDの軸として位置づけたものは、遠山郷線、上市田線(南信州の法定計画に準じる)、中仙道線上田区間(中仙道線佐久区間との一体性の再検討)

県内の拠点と公共交通ネットワークイメージ



- 凡例**
- 広域都市間連携軸
 - 圏域間連携軸
 - 圏域内連携軸
 - 地域間連携軸
 - 広域拠点
 - 圏域拠点
 - 地域拠点
 - 主要観光地